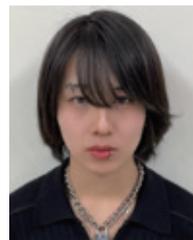


文部科学大臣賞



大森 紘一郎

専門課程

文化服装学院
ファッション工科専門課程
ファッション工科基礎科

今回、文部科学大臣賞という名誉ある賞を頂きとても光栄に思います。
私が今回描いたのは「私が着たい服」と言うテーマから、誰も見たことが無い服が今私の着たい服だと思い、四足歩行で水銀を纏ったデザイン画を描きました。
描くにあたり、特に悩んだのは、人物の描き方と水銀の流動的なテクスチャをどう組み合わせるかでした。
水銀という、ファッション界で今まで出てこなかった素材をどう纏わせるかを描き終えるまで常に考えていました。

結果として、モデルの周りに、弧を纏わせる方法で、流動感を表現しました。
更に色を塗る際に、光源を意識し水面の反射した光のような塗り方をすることで、水銀のように描くことができました。受賞を通し新たな目標として、今回描いたデザイン画を服として実際に作りたいて考えています。
繰り返しにはなりますが、今回のような賞を頂き誠にありがとうございます。
光栄に思うと同時に、あくまでも夢への途中だと身を引きしめて参ります。

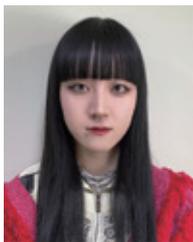


全国服飾学校

第39回

ファッション画コンクール 大臣賞決まる!

経済産業大臣賞



萩原 奈音

専門課程

上田女子服飾専門学校
ファッションクリエイター学科

この度は経済産業大臣賞という輝かしい賞を頂けたことを大変光栄に思います。まだ1年生の私は入学して最初の学外のコンクールということもあり、気合を入れて挑みました。まさか自分の作品が選んでいただけとは思っていません。このように形で服飾学生生活のスタートを切れたことを嬉しく思います。

今回私はこれからファッション業界に羽ばたいていきたいという想いを込め、始まりや変化をテーマにした作品に仕上げたいと思い、双方の意味を持つ蝶と蛾をコンセプトにデザイン画を描きました。あえてモノクロで表現し、見る人が想像して楽しめる着彩前の塗り絵のような作品にしました。
今回の受賞は私にとって夢に一歩近づくきっかけになりましたが、今後ファッション業界へと進んでいく中ではまだ出発地点に過ぎないと思います。これで満足せず、日々成長を続け、常に今が最高の自分でいられるよう努力します。改めて、ご指導くださる先生方、私の活動を応援してくる友人や家族に大変感謝しています。貴重な経験をありがとうございました。



一般財団法人
日本ファッション教育振興協会

日本におけるファッション教育の知識・技術の向上を図るために創設された財団法人です。繊維ファッション・流通分野の人材育成のための「ファッションビジネス能力検定」、リテール・小売企業で販売を担当する人材を育成するための「ファッション販売能力検定」、ファッションビジネスの現場で必要とされる色彩スキルが身につく「ファッション色彩能力検定」、アパレル企業の生産部門における人材育成のための「パターンメイキング技術検定」などの検定試験と検定テキストの発行を行っています。また、全国の服飾系学校の学生を対象とする「ファッション画コンクール」、教育功労者の顕彰、産業界と協力して開催する講演会、研修会など、ファッション教育の確立と振興を目的に活動しています。

一般財団法人
職業教育・キャリア教育財団
理事長賞



専門課程
マロニエファッションデザイン専門学校
ファッションクリエイション学科
古里ゆい



経済産業省
商務・サービス審議官賞



専門課程
横浜ファッションデザイン専門学校
ファッションクリエイティブ科
CHIBATA CHINGUN



文部科学省
総合教育政策局長賞



専門課程
香蘭ファッションデザイン専門学校
ファッションデザイン専攻科
森大輝



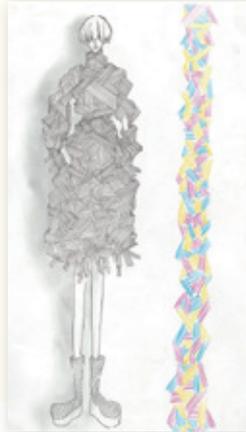
高等課程

山本 藍香
中央学園高等専修学校
ファッションクリエイター科



高等課程

糟谷 唯可
安城生活福祉高等専修学校
ファッション・パティンエ科ファッション専攻



高等課程

新愛瑠
清凌高等学校
生活デザインコース



専門課程

- 中川 志衣 北海道文化服装専門学校
- 松井 梨花 北海道文化服装専門学校
- 千葉 愛華 ファッション文化専門学校 DOBEIME
- 佐藤 まなか 宮城文化服装専門学校
- 村上 蘭織 宮城文化服装専門学校
- 瀬谷 百香 織田ファッション専門学校
- 池田 空広 専門学校ファッションカレッジ校丘
- 常川 遼太 東京モード学園

高等課程

- 近藤 恵美加 安城生活福祉高等専修学校
- 前橋 海風 ヒロネデザイン専門学校
- 日比野のあ 名古屋ファッション専門学校
- 佐藤 愛海 東京モード学園

専門課程

- 日野 花香 宮城文化服装専門学校
- 須平 阜斗 織田ファッション専門学校
- 中屋 杏実 織田ファッション専門学校

優秀賞 10名

ごあいさつ



文部科学省 経済産業省 日本アパレル・ファッション協会としてアパレル産業各企業 全国服飾学校関係者の方々は、日頃より

弊協会の運営におきまして、多大なるご協力を賜りまして誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

この度、ファッション検定のファッションビジネス能力検定、ファッション色彩能力検定、ファッション販売能力検定、パターンメイキング技術検定、そして洋裁技術検定、和裁技術認定におきまして、予てより申請をしておりました文部科学省後援の許可を頂戴することができました。この許可につきましては、全国服飾学校におけるファッション教育の社会的成果として1990年以降76万人の検定・認定受験者数を数え、ファッション業界に多くの合格者の方々が就職し、活躍してくださった賜物と存じます。

また教育の現場におきまして、各校がファッション業界との連携を持ち、様々な取り組みをされ授業カリキュラムの中に随時取り入れ、常に進化し続けていることと思います。世界情勢も変わる中で、変革するファッションビジネスを常に意識し、必要な情報を取り入れ、検定・認定に反映し、見直しながら運営に注力していきたいと思っております。後援いただきましたことは今後の励みになり、また一段と気を引き締めてまいります。

コロナ禍の経験を踏まえて様々なもの、ことが淘汰され人々の考え方も人間の脳と、AIが共存する世界となりました。その中でAIの進化により「AI」によって仕事が奪われるということが現実になってきたと思わざるを得ない状況です。しかしながらAIより人間のほうが優れているという能力は、「創造的思考」「社会的思考」だと考えられています。ファッション業界に携わる者として、抽象的概念を整理し創出する力や、交渉や説得などの高度なコミュニケーション力、他者と協働し相手を思いやり尊敬して仕事ができる力は、専門知識として必須です。人間にしか出来ないような創造的で付加価値の高い仕事に専念できる能力を養うためにも、弊協会としてファッション検定・認定の役目をしっかりと地に足をつけ励んでまいります。また、研修事業やシンポジウムにつきましても従来の形に戻しながら積極的に提案し、明るい未来に向かって協議、課題解決力を合わせていきたいと思っております。今後とも産、官、学の相乗効果に結び付くよう努めて参りますので、何卒引き続きよろしくお願い申し上げます。

全国服飾学校協会
会長賞

一般財団法人
日本ファッション教育振興協会
理事長賞

一般社団法人日本アパレル・
ファッション産業協会
理事長賞

専門課程

東京モード学園
ファッションデザイン学科高度専門士コース
HAO YIHONG



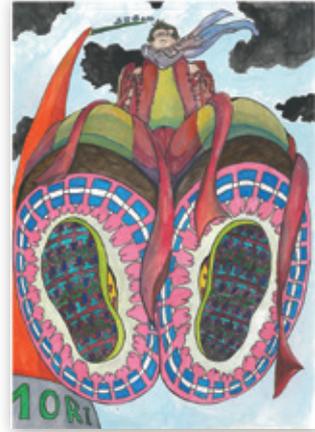
専門課程

岡学園トータルデザインアカデミー
ファッション科ファッションクリエイターコース
井口夏桜



専門課程

香蘭ファッションデザイン専門学校
ファッションデザイン科
森颯太郎



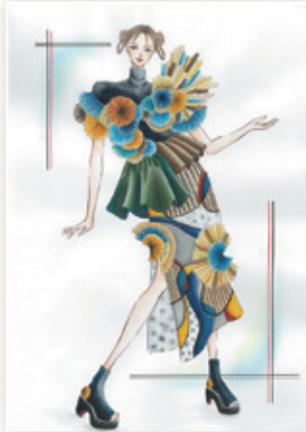
高等課程

鴻池学園高等専修学校
ファッション科
梶本梨夏



高等課程

アンファッションカレッジ
高等課程ファッション総合科
稲垣葵衣



高等課程

アンファッションカレッジ
高等課程ファッション総合科
中嶋夏希



高等課程

- 玉橋世夢 東京モード学園
- 大越星羅 華服飾専門学校
- 太田心萌 文化服装学院
- 中川詠未里 文化服装学院
- 古田詩音 文化服装学院
- TAO Ran 文化服装学院
- 中屋七海 慈恵歯科医療ファッション専門学校
- 林綾乃 名古屋ファッション専門学校
- 葛山咲貴 名古屋モード学園
- 有馬花純 上田女子服飾専門学校
- 野田あやね 上田女子服飾専門学校
- 大本航 大阪モード学園
- 梶田乃杏 神戸ファッション専門学校
- 川上勇飛 香蘭ファッションデザイン専門学校
- 小嶋月 香蘭ファッションデザイン専門学校
- 齋藤佳南 ヒロデザイン専門学校
- 西島緋那 ヒロデザイン専門学校
- 原田つぎの 江東服飾高等専修学校
- 兵藤ゆあ 安城生活福祉高等専修学校
- 近藤優月 安城生活福祉高等専修学校
- 花木愛奈 小井出ファッションビューティ専門学校

全国服飾学校ファッション画コンクールについて

次の時代を担う、感性豊かな
ファッションクリエイター
育成のために

日本のファッション産業を魅力と活力ある産業にするためには、なによりも産業を支える有為な人材、これからの産業を担っていく様々な人材の育成が必要ですが、とりわけ国際的な競争力を持つ、魅力的なファッション商品の発想・開発ができるデザイナーやクリエイターなど、高い専門能力を持ったスペシャリストが望まれています。

全国の服飾系学校の学生を対象とするこのコンクールは、こうした状況を勘案し、学生に目標を与え、ファッションにおける創造やデザイン能力向上を図るために、文部科学省、経済産業省、一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会との後援を得て行っており、令和5年度で39回になります。

このコンクールへの応募基準は、専修学校の専門課程（高卒以上が入学）と高等課程（中卒以上が入学）の学生・生徒が、自ら発想・デザインしたもので、学内選考を経た未発表のオリジナル作品に限られます。応募点数は、都道府県官公庁に届出のファッション関連教育課程（各課程）の定員数を基準にし、100名未満を5点、100名以上250名未満を10点、250名以上500名未満を15点、500名以上1000名未満を20点、1000名以上を30点とし、今年度も多くの学校より優秀な作品が寄せられました。第一審査を経てテーマは「今私が着たい服」で、65校より546点の応募がありました。

文部科学大臣賞
経済産業大臣賞ほか授与

「最も優れた作品で、感性性の高いもの」に対し文部科学大臣賞、「最も優れた作品で、市場性の高いもの」に対して経済産業大臣賞が授与されます。これらに次ぐ優秀な作品には、文部科学省総合教育政策局長賞および経済産業省商務・サービス審議官賞が授与されます。そのほか、一般財団法人職業教育・キャリア教育財団理事長賞、一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会理事長賞、一般財団法人日本ファッション教育振興協会理事長賞、全国服飾学校協会会長賞などが授与されます。

審査員 講評

審査員の講評動画を協会HPで
公開しておりますのでご覧ください。

未来を期待させる要素が選考の基準に



株式会社ヒロココシノ
代表取締役副社長
クリエイティブディレクター
小篠 ゆま氏



株式会社サポートサーフェス
代表兼デザイナー
研壁 宣男氏



東京ファッションデザイナー協議会
代表理事・議長
久保 雅裕氏



ファッションクリエイティブディレクター
兼 gumi-gumi代表取締役
軍地 彩弓氏

この度の「ファッション画コンクール」において、各作品の全体的な画力の高さや、オリジナリティと想像力を持った学生たちが多く存在することに感激いたしました。衣服としてのみならず、デザイン画の世界観をエネルギーギッシュに表現しているように感じられ、大きな評価へと繋がりました。他と異なる視点やアプローチを持っているか、独創性が豊かで、未来を期待させる要素が選考の基準となりました。

「文部科学大臣賞」を受賞された作品については、他にはない独自性に秀でており、「現実ではどのように成立するのか？」という第一印象を遥かに超える造形としての面白さや無限の想像力がありました。流れの中に人物が存在するという独自の表現の中で、3色でまとめることにより躍動感を感じさせるバランス感覚や意識の新鮮さが評価されました。

「経済産業大臣賞」を受賞された作品については、細部への神経の行き届いた表現が素晴らしく、モノトーンだけの線画で世界観をまとめている構成力の高さが印象的でした。テーマの設定も面白く、服の独創性が融合することにより想像や興味が掻き立てられ、刺激的な作品として評価されました。

高等課程部門においても、非常にクリエイティブで面白い構図やアプローチが多く見受けられ、選ばれた作品も力作揃いでした。

ファッションはオリジナリティと同時に衣服としての強さ、リアリティのあるインパクトが不可欠です。生成AIが登場した現代において、人間としてのデザインをどのように提供していくかが重要なテーマとなったように感じています。

ファッションやモードに対する拡張された自由な考え方と形にできる創造力を持ち、淘汰されない独自のものを生み出すために、生成AIを活用し、どう表現していくかも注目される時代になるでしょう。人間のクリエイティブの重要性とは、様々な蓄積の中から何を抽出するかを自身の力で選ぶことで共感が生まれます。

今回のコンクールを通して、「服を作る」という最終目的だ



けに縛られず、デザイナーが広い視野で活動できる可能性を感じられたことは、未来のファッション業界における希望だと思えます。皆様が持つ無限の可能性に期待しています。

令和5年度 服の日 記念行事

ファッション画コンクール表彰式・服飾教育功労者顕彰式



令和6年2月9日において、一般財団法人日本ファッション教育振興協会（弊協会）主催による「令和5年度 服の日 記念行事」を開催いたしました。コロナ感染禍の影響を受けて、4年振りとなる講演会並びにファッション画コンクール、服飾教育功労者顕彰式も対面形式により実施する運びとなりました。前半部をパネルディスカッション形式の講演会として、テーマを「ファッション業界に求められる人材像」と称し、2022年3月に経済産業省ファッション政策室の主導により、纏め上げられた「ファッションの未来に関する報告書」をもとに、「更なるファッション業界の展望」これからの「日本ブランド」の勝ち筋などの具体的な事例を交え、さまざまなお立場や視点からのお話をいただきました。小規模ながら時代性と未来を見据えた期待感を反映した講演内容となり、多数ご参加いただいた服飾専門学校教職員の皆様にも共感いただき、充実した講演であったとの高い評価をいただくことができました。後半部では、今回で39回目を迎える「全国服飾学校ファッション画コンクール表彰式」並びに「服飾教育顕彰功労章表彰式」を執り行いました。



◆講演会◆「ファッション業界に求められる人材像」

経済産業省 商務・サービスグループ
クールジャパン政策課課長 / ファッション政策室室長

侯野 敏道 氏

株式会社ヒロコソシノ
代表取締役副社長 / クリエイティブディレクター

小篠 ゆま 氏

株式会社 gumi-gumi 代表
ファッション・クリエイティブディレクター

軍地 彩弓 氏

東京ファッションデザイナー協議会
代表理事・議長

久保 雅裕 氏

パ
ネ
リ
ス
ト

グローバル化された現代において、諸外国からみた日本文化「カルチャー」は非常に魅力的であり、その国の競争力の源泉としても大きな意味を持っています。その中において日本のファッション産業は、他の国内産業よりもサプライチェーンの歴史が長く、魅力ある産業構造ではありますが、さまざまな課題に直面している状況となっています。この解決していかなければならない諸問題を提示し、これからの「ファッションを考える会」が纏めた「未来に向けた10の兆候」をもとに、産業の「担い手」の育成についても様々なお話を伺うことができました。その課題として挙げられた、欧州に見るアパレルマーケットの二極化現象、有名ブランドの方向性 / ものづくりのストーリー性の再構築、日本における川上 / 川下の連携強化と生産業者への基盤支援、そして日本の輸出問題として、海外需要を取り込んでいくための輸出の強化、また、これからのファッションビジネスの未来を切り拓く新・基礎知識として「ファッションロー」学習の必要性を語られました。

未来に向けた10の兆候

人と自然に調和的なファッション

① 需給ギャップを縮小させるビジネスモデル

② 良いモノを長く楽しむ

③ 循環システムの構築

テクノロジーで変わるファッション

④ 質のないデジタルファッション

⑤ 創造性の発揮を支援するテクノロジーの台頭

⑥ 創造社会の新しい市場ルール

新たな価値を生み出すファッション

⑦ ラグジュアリー概念のアップデート

⑧ これからの海外需要獲得

⑨ ビジネスで留意すべきファッションロー

⑩ ファッションの未来に求められる人材論



2023 年度

服飾教育顕彰表彰

主催 一般財団法人日本ファッション教育振興協会 / 全国服飾学校協会
協力 一般財団法人職業教育・キャリア教育財団

日本ファッション教育振興協会は、ファッション教育の充実・向上・振興を図るために多くの方々にご協力をいただきながら様々な事業を推進していますが、その中で服飾学校教育の振興を通じて社会の進展に尽力した功績顕著な教育者を顕彰する制度があります。全国都道府県より候補者の推薦を受け、服飾教育顕彰選考委員会での審査の後、被受章者を決定し、毎年、服の日記念行事として顕彰式を開催しております。顕彰式では、長年にわたる服飾教育への貢献を称え、「服飾教育功労章」が授与されます。

加藤千恵子 先生

渋谷ファッション & アート専門学校



この度は、服飾教育顕彰功労章を頂戴致しましたことを誠に光栄に思っております。今回の受章にあたり、今まで支えご指導下さった全ての方々に心より御礼申し上げます。

上げます。

服飾教育に携わって30数年となります。服飾造形を専門として服作りのノウハウを指導してきました。学生と共に考えながら作品制作の指導をしてきました。教えることへの難しさを日々痛感しております。

また、パターンメイキング技術検定試験の実技採点や洋裁技術認定試験の問制作成に携わらせて頂き、他校の先生方との交流もかけがえのない財産となりました。

これからも学生との出会いを大切に、そして、学生への手助けが少しでもできるように努力していきたいと思っております。

この度は本当にありがとうございました。

教えることの難しさを日々痛感

早淵千加子 先生

文化服装学院



この度は服飾教育顕彰功労章を頂きまして、誠に光栄に思っております。心より感謝申し上げます。今回の受章にあたり、今までご指導してくださった皆様に心から御礼申し上げます。

服飾教育に携わって30年以上になります。出会いは小池千枝先生の立体裁断でした。魔法がかかったように軽やかにボディの上で舞う布があつたという間に立体的な形を作り出し、洋服になる様子はとても衝撃的でした。そこからもの作りの楽しさ、探求する心に目覚め今に繋がっています。

さも文化から洋服の文化に大きな革新を遂げてきた服飾の世界で教師として働くことの夢が叶い、たくさんの方々と出会って刺激を貰い、出会った数だけ自分も成長できたような気がします。さまざまな業界で活躍する卒業生を応援しながら未来に羽ばたく学生たちと共に、これからも裁縫、縫う、手わざの心を大切にしながら伝統と革新を探究し、日々精進してまいります。ありがとうございます。

澤谷目童 先生

文化服装学院



この度は、服飾教育顕彰功労章という身に余る章を頂き、誠にありがとうございます。大変光栄に思うと同時に身の引き締まる思いです。受章できたのは、これまでご指導いただいた

た恩師の先生方、先輩方、同僚の存在のおかげであり、心より感謝を申し上げます。思い起こせば、文化服装学院という学び舎で過ごした年月は、自分の人生そのものだと見え、他に例えることのできない唯一無二の時間でもあります。在職中には数々のプロジェクトに参加させていただき、普段交流することのできない省庁関連、ファッション企業の方々と一緒に過ごさせていただいた象徴的な時間であったと言えます。

こうして長く一企業で従事することで得られた出会いや繋がりを評価していただきたとすればとても嬉しく思います。最後になりましたが、審査いただきました皆様、心より御礼申し上げます。ご挨拶に代えさせていただきます。

文化服装学院という

学び舎で過ごした年月は、

自分の人生そのもの

これからも、

手わざの心を大切にしながら



令和5年度 服の日 記念行事

ファッション画コンクール表彰式・服飾教育功労者顕彰式

学校は、
教職員と学生が織りなす布地のよう
様々な表情を創り出す場所

上野和博 先生
文化服装学院



申し上げます。
学校は、教職員と学生とが織りなす布地のよう
に様々な表情を創り出す、素晴らしい場所
だと思えます。文化祭などのイベントで
OB・OGの先輩方や卒業生に出会う機会
に不思議な「縁」を感じます。
ここ数年は、パターンメイキング技術検定
の問題作成・採点に携わらせて頂いていま
す。検定委員を通して様々な気づきがあり、
他校の先生方との意見交換は、貴重な経験と
なっています。

この度は、服飾教育顕彰功労章を頂くこと
になり、望外の喜びを感じています。入職し
て30数年が経過しますが、今までにお世話に
なっただけにこの場をお借りして、心か御礼

繊維素材は、服飾以外の産業や医療業界な
どの分野にも影響し、更なる可能性を秘めて
います。DXなど将来を取り巻く状況は劇的
に変わっていきませんが、環境の変化に対応で
きるよう微力ながらお力なれば幸いです。

ファッションの変遷の他に
アナログからデジタルへの変化も

玉田恵美子 先生
文化服装学院



あつてのことです。
昭和、平成、令和の三世代に渡り、服飾教育
に従事しましたが、ファッションの変遷の他
に、アナログからデジタルへの変化もあり、
指導する私たちも日々新しい技術や知識へ
の対応が求められました。また年代によつて
学生の気質も様々で服飾の技術だけでなく、
教育者として求められる指導方法も変化し
てきました。大変ではありましたが、やりが
いを感じて精進してきました。

今回の服飾教育顕彰功労章の受章に際し、
光栄であり感謝申し上げます。
私がこれまで服飾教育に携わることがで
きましたのは、ご指導いただいた諸先輩方、
また同僚や後輩など周囲の方々の支えが

デザインの流行や新しい素材の開発、環境
への配慮、十八歳人口の減少など服飾教育に
おける課題はありますが、これからも目指
す学生たちのためにも、これからもファッ
ション業界で活躍する人材を育成できるよ
うに私自身も努力していきたいと思いま
す。ありがとうございます。

武蔵雅子 先生
大阪文化服装学院



校長先生、教職員、退職された教職員の皆様
に恵まれ、お力添え頂いたお陰だと心から感
謝しております。また、受章を機に新たな気
持ちで邁進することができればと思つてお
ります。

振り返りましたら、学院内の事務的業務だ
けでは無く、学院が参画した官庁、企業、各種
団体との取り組みの事務的業務を任せて頂
いたことは、プレッシャーもありましたが、
貴重な経験となり今の私の仕事に繋がって
いると感じています。

このたびは、服飾教育顕彰功労章という輝
かしい章を頂戴いたしましたこと、大変光栄
に思っております。

私は、大阪文化服装学院事務局に入職し
て、30数年が経過いたしました。これまで永
く勤めさせていただけたのは、理事長、

変化の激しい世の中で、学校に求められて
いることや学生を取り巻く環境も日々変
わっていくなか戸惑いながらも度々あるの
ですが、何があっても柔軟に受け止めて学生
の皆様が安心して学校生活が送れるように心
がけていきたいと思っております。

このたびは誠にありがとうございました。

変化の激しい世の中で、
何があっても柔軟に受け止めて

宇土ユカ 先生
香蘭ファッションデザイン
専門学校



この度は表彰頂き誠に光栄に存じます。
また、今日に至るまでご指導、支えて頂い
た全ての方に心より感謝申し上げます。

また、今日に至るまでご指導、支えて頂い
た全ての方に心より感謝申し上げます。

また、今日に至るまでご指導、支えて頂い
た全ての方に心より感謝申し上げます。

また、今日に至るまでご指導、支えて頂い
た全ての方に心より感謝申し上げます。

なっただけにこの場をお借りして、心か御礼

生活に関わる全てのことに関心があり中
でも服飾の道を志したのは、人に最も必要か
つ直接影響を及ぼす事柄だと感じたからで
す。実際、服作り及びビジネスは、奥が深く興
味が尽きないと同時に、人が育っていく現場
は更に終わりのなき探究の道だと思えます。

教えるより多くのことを学生や周囲の
方々から学ばせて頂きました。またそこに
「ファッション」という共通言語があったこ
とでより豊かな充足を築いて参りました。服
作りが核となり世界が広がっていく「礎」と
なってくれたのです。

この喜びは、これからの人生においても変
わらぬ想いであると同時に今後も更なる努
力を続けていく覚悟です。

人が育っていく現場は
終わりなき探求の道

パターンメイキング技術検定 (略称:PM検定)



当協会のPM検定は創設当初より文部省(当時)から厳しいチェックを受けながら高い技術とクリエイション力を取得しているかを確認する唯一の公式検定です。PM技術(実技)と筆記試験からの構成となります。

2、3級試験が同日実施ではなくそれぞれ1回ですので出願期間にはご注意ください。詳細は2024年度(4月発行予定)の「受験案内」を参照してください。

2024年4月15日に『パターンメイキング I パターンメイキング技術検定試験 I 級公式問題集(2018年~2023年)』が発刊予定です。2018年(第43回)から2023年(第53回)までの過去11回分の過去試験問題を解答と合わせて収録しております。実際に出題された過去の試験問題をテスト試験として実践的に学習いただけますのでぜひご活用ください。

ファッション色彩能力検定 (略称:FC検定)



2019年より、年度末の1月1回にまとめて行っています。テキストの評判もいため、1年間の授業科目に採用している学校も多く、他の協会や会社が行っているカラー検定とは異なり「ファッションカラー」にすべて特化したものとなっています。FC検定は、FB検定、FS検定とも関係のある検定です。

FC検定については2級と3級試験が午前と午後、別々に行われるので併願も可能です。

ファッションビジネス能力検定 (略称:FB検定)

FB検定はここ数年、四大卒・短大卒生の受験が増加傾向にあります。日々変化するファッションビジネス分野にあって、やはり専門的な知識を知っておくこと、きちんと整理をして業界のすべてを見渡せること、これらをしっかり確認できるのがこの検定。もちろん学生の時から早く取得しておけば、業界に出て基本的知識を有することで一歩先んじられるため、1級の取得に向けて計画的に頑張ってください。

2024年2月に『ファッションビジネス能力検定試験2級公式問題集(2021~2023年)』が発刊されました。2021年(第56回)から2023年(第59回)までの過去4回分の過去試験問題を解答と合わせて収録しております。実際に出題された過去の試験問題をテスト試験として実践的に学習いただけますのでぜひご活用ください。

ファッション販売能力検定 (略称:FS検定)



FS検定の特徴としては、販売知識や技術の幅広い応用性を有していることです。ファッション業界においては、就職求人も販売関連職は多く、入社後も広く専門分野として要求されることもあり、エキスパート化していく要素もあるので、着実に学習して上級の取得を目指してください。

2級の検定では、社会人、ファッション企業からの受験者もあり、一般大学からの新入から2、3年を経たまだ経験の浅い社員や全国各店舗で働く店長及びそれに準じるクラスなどの受験が増えています。企業によっては内部の資格制度などにうまく活用されている企業も出てきています。

かねてより学と産が一体化した検定をと勧めてまいりましたが、2019年より「日本販売プロフェッショナル協会」と手を結びました。販売のプロを認定するため、5年以上の現場実践と試験を経て認定されます。そのうちの試験科目「知識」部門で当協会のFS検定2級以上を取得している方は科目免除となります。ぜひ今後有効にご利用ください。

認定試験

自分の実力がどのくらいあるのか、学校内で洋裁、和裁の理解度はどのくらいあるかの力量を推し量るための試験に「洋裁技術認定」と「和裁技術認定」の2つの試験があります。ともに日本の伝統に立った「洋裁」と「和裁」の技能の実力をみるもので、公式な検定ではなく各専門学校単位で申し込み実施されます。「PM検定」と「洋裁認定」とのはっきりした違いはPM検定は筆記に加えて重要な実技試験があるのが特徴です。一方、「洋裁認定」は筆記だけになります。「和裁」はかつて日本和裁教育協会が実施していたものを引き継ぎ実施しているものでこちらも筆記試験のみです。



公式オンラインショップ

<https://fashionedu.base.shop>

全国の書店でもご注文承ります

但し、ISBNコードがあるもののみご注文いただけます。取次なしの書籍は、公式オンラインショップをご利用ください。

出版社名:一般財団法人日本ファッション教育振興協会



ファッション教育2024

令和6年3月20日発行

発行人 櫛下町 慶子

発行所 一般財団法人日本ファッション教育振興協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-14-3 紫苑学生会館2階

TEL 03-6300-0263 FAX 03-6383-4018

<https://www.fashion-edu.jp>

(無断転載を禁じます)

